

温故創新 豊中らしさを創る Vol.15



駅前・街角での3秒間の出会いを、無限大の関係に！日々の活動などはホームページで。

<http://matsuoka-akimichi.net>

無所属 28歳

豊中市議会議員

まつおかあきみち

松岡信道と、もっと市議会！

編集・発行／豊中から日本を動かす会

足元の下水道に注目。

朝起きて顔を洗う。蛇口をひねると水が出る。トイレに行く。水洗が当たり前の時代。生活に必要な不可欠で、当たり前になつている上下水道は、私たちの歩く足元に配管されています。

どうやって流れているの？

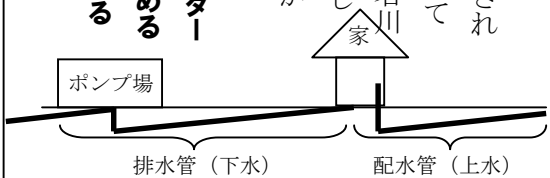
水は浄水場から各家庭まで、各家庭から下水処理場までの長い距離をどうやって流れているのでしょうか。答えは意外？ 当たり前？ **水道管は傾きをつけて埋められており、水が自然に流れる仕組みになっています。**（左図参照）

しかし、水道管が地表より深くなりすぎると、埋める費用が高くなり、清掃や修理もしにくくなります。そこで、水道管が深くないように所々にポンプ場を設けて、一度くみ上げ、再び水道管の勾配にそって流れるようにしています。

安心安全の水道水

豊中市には、高度処理された大阪府営水道を受水して配水している系統と、猪名川から取水し、柴原で浄水してから配水している系統があります。

市内10箇所に水質モニターを設置して、安心して飲める安全な水を各家庭に届ける体制を整備しています。



下水の種類は2つ。

下水と言っても二種類あります。一つは雨水、一つは汚水です。雨水はそのまま川などへ放流できますが、汚水は下水処理場で高度処理しなければ、放流することはできません。

雨水管と汚水管が別々に整備されているのを分流式、同じ管で整備されているのを合流式といえます。合流式では、処理する必要のない雨水が汚水と一緒に流れるため、処理水量が過大となり、一定量を超えると未処理のまま放流しています。処理場の負担を軽減し、環境にやさしい下水道を目指すためには、分流式での下水道整備をすすめていかなくてはなりません。

合流改善を推進します。

これから新築、開発される宅地は分流式で整備するべきです。再配管される公共下水道(下水管の耐用年数は50年)についても、老朽化のタイミングで分流式へ切り替えるべきだと思えます。しかしながら、**豊中市域の4割が合流式、6割が分流式で整備されています。**合流式で配管されているところを分流式に切り替えるには、莫大な費用がかかるので、一朝一夕には実現できません。そこで、合流式から放流される水質レベルを分流式と同等にする「**合流式下水道の改善**」に取り組み、環境保全に努めていきます。

下水道からはじまる環境保全。

合流式で整備された経緯

古くから市街化していた地域で合流式となつているのは、当時は水洗化が最優先であったこと、また浸水防除の観点があったことが主な理由です。しかしながら、環境保全の意識が向上し、水質汚濁が問題となったことから、分流式によって整備されるようになりました。

下水道行政の再考

高度経済成長の下で都市化が進行し、道路はアスファルトで舗装され、道路の両脇には排水溝が整備されました。こうした中、「降った雨をいかに早く排水するか」という目的で、下水道行政は進められてきました。

しかし、近年は地球の温暖化にともない、熱帯地方のスコールのような降雨(ゲリラ豪雨、50mm/h以上)によって、排水許容量を超えて浸水被害をおこす都市型水害が増えてきました。豊中市も大きな被害をうけましたし、全国ではマンホールが飛び、けが人が出たという報告もあります。排水至上主義が環境の変化にあわなくなつた今、これからの下水道行政のあり方を再考していきたいと思えます。

略歴

- 市立 しんでん幼稚園
- 市立 南丘小学校
- 市立 第九中学校
- 府立 北野高等学校
- 同志社大学法学部政治学科
- 池田市長インターンシップ修了
- 茨木市議インターンシップ修了
- 箕面市公募委員(公共下水道)
- 大阪府信連職員(JAバンク大阪)



現在 無所属/ネクスト豊中
豊中市議会議員(最年少28才)

- 建設水道常任委員
- 都市計画審議会委員
- 農業委員、議会報編集委員
- 豊中ラグビースクールコーチ
- NPO 法人 JASSE 代表理事
- 豊中地区 BBS 会役員

千葉県市川市を視察。

雨水対策先進都市、市川市のあま水条例

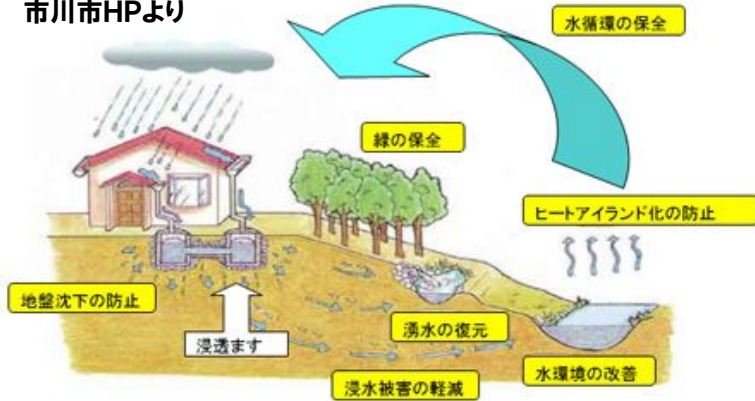
排水許容量を超えた雨水が浸透せずに短時間のうちに宅地の外に流れ出し、低い土地にたまる都市型水害を解決しようと、市川市は全国で先駆けた取組みをしています。市川市では、市民が自己所有する宅地に降った雨水を宅地内で流出抑制させるため、雨水浸透マッス及び雨水貯留タンクの設置を公費負担で義務付けています。市と市民が協力して、降った雨を地中に浸透させたり、一時的に貯留して流さないなど、非常時の断水に備えて雨水の有効利用の推進が急務です。

ハードからソフトへ

都市型水害に対する施策として、巨大雨水貯留槽を地下に埋設しています。地下に大きなプールを造って、降った雨を一時的に貯留し、晴天時にゆっくり排水します。しかしながら、億単位の工事費がかかるうえ、雨天が続くと機能低下します。

市民のみなさんの協力とともに、ハードとソフトの両面から費用対効果を検討して、施策を実施しなければいけません。財政難の豊中市としては、市川市の取組み(当初費用五百万円、事業費四百万円)に習うことが必要ではないでしょうか。

市川市HPより



開かれた政治を目指して。

市議会インターネット中継はじまる!

「市議会ってどこにあるの?」「市議会議員って何しているの?」「こんな素朴な質問をみなさんからいただきます。市議会は市役所の議会棟にありますが、身近ではないですよね。議員の仕事ぶりを見ようと思っても、市議会を傍聴するのは手間がかかります。そこで、いつでもどこでも議会の傍聴ができるように、議会の模様をインターネットで中継することにしました。

議会の全会派が、開かれた政治を目指して実現しました。「議会にお金をかけすぎ」という意見もありましたが、議員のためではなく、市民のみなさんのための施策ですから、色んな議員の発言をご覧いただくことが大切だと思います。また、有権者の視点からすると「耳に聞きたい」「発言に偏りがちですが、「耳が痛い」発言もまちづくりには必要です。みなさんが市議会議員だったら、という視点も忘れないでいただきたいと思います。当面は本会議のみの中継ですが、今後委員会の中継実現にむけて取り組んでいきます。

議員インターンシップ募集中!

開かれた政治を目指す取組みとして、議員インターンシップを受け入れています。議会だけが市議会議員の仕事ではありません。町の政治家として、豊中市内にとどまらず、東奔西走しています。そんな議員活動をそばで見て、聞いて、体感してもらえるのが、議員インターンシップです。三度目の受入となる今回は、四人の学生さんが来てくれています。駅前や街角で一緒に活動しているのを見かけたら、声をかけてあげてください。みなさんも議員インターンシップをしてみませんか? たまのお休みに、政治が身近に感じる非日常はいかがでしょうか?

- 同志社大学 谷口健人
- 関西学院大学 平志帆
- 近畿大学 松本りえ
- 近畿大学 塩見志

応援よろしくお願ひします。

いつも皆様から温かいご声援をいただきまして、心から感謝しております。箕面市の選挙のお手伝いをさせていただいて、議員は多くの人に支えられていることを再認識し、気持ち新たに頑張りたいと決意した次第です。

今回は、みなさんと一緒に政治をするためのお願ひを列挙させていただきます。「これならしてあげられる」ということがありましたら、お力を貸していただきたく、左記までお知らせください。よろしくお願ひ致します。

- ① 名刺交換をしてください
- ② 友人知人をご紹介ください
- ③ ブログを見てください (マイミクになってください)
- ④ お住まいの向こう三軒両隣、集合ポストに活動報告を配布してください
- ⑤ 地域情報や業界情報などを教えてください
- ⑥ スポーツや食事会、井戸端会議などに誘ってください
- ⑦ 政治活動資金をカンパしてください
- ⑧ 目立つところに看板を設置させてください (屋外)
- ⑨ 活動報告やポスターを置かせてください。
- ⑩ (屋内)

※ご意見感想をお聞かせください。
 TEL:06-7178-7785 (携帯へ転送します)
 FAX:06-6871-0632 (後援会事務所)
 Mail:office@matsuoka-akimichi.net

Q1. あなたについて教えてください。年齢 () 才 / 性別 (男・女) / 連絡先 () ※返事が必要な方のみ
 Q2. 豊中市に対して疑問に思っていること、取り組んで欲しいことをお聞かせください。 ※駅前まで手渡か FAX でお寄せください。